

「AITサイエンス大賞」 in 愛知工業大学に参加し、

優秀賞を受賞しました！！



全体発表会でパワーポイントを用いた5分間の発表をしている様子

11月2日(土)に愛知工業大学(豊田市)で開催された「第18回AITサイエンス大賞」に土岐川ゼミ自然再生班の4名が参加しました。「AITサイエンス大賞」は愛知工業大学が、若者の理科離れに歯止めをかけ、科学立国・技術立国日本を支える人材育成を目的に創設されたものです。本校の土岐川ゼミ班が「社会科学・地域作り部門」で、これまでの研究成果や今後の展望について発表をしました。「AITサイエンス大賞」に向け連日パワーポイント・ポスター・論文の作成を行い、研究の成果をまとめてきました。入念な準備をしてきた結果、当日は大きな声で自信を持って発表に臨むことができました。ポスター発表においても、オーディエンスの質問に対し、的確かつ明快に受け答えをしている姿がとても印象的でした。

研究発表は審査員9名(愛知工業大学教授陣)によって行われ、論文審査・全体発表・ポスター発表の3つの観点から総合的になされました。そして、「社会科学・地域作り部門」に参加した17校20テーマの中から3テーマしか選ばれない優秀賞を受賞することができました。論文作成・全体発表・ポスター制作など今後の社会を生き抜く上でも、とても貴重な経験を積むことができました。また優秀賞を受賞できたことにより自信を付けることができました。今後は、笠原川での小さな自然再生の実施と東海学院大学で行われる理科研究大会での発表に向けて活動を続けていきます。

生徒感想

- ・実験河川で行った活動を論文やポスターにまとめることはとても大変で難しいことだと実感しました。先生たちの厳しくも丁寧な指導のおかげで、何とか書き上げることができました。全体発表では、練習の成果を発揮し、納得のいく発表ができたので良かったです。とてもいい経験になったので、この経験を今後の活動に生かしていきたいです。
- ・このような場所での発表は初めてでとても緊張しました。ポスター発表では好意的な意見や応援の言葉を多くいただき、私たちの活動が認められていると感じ、嬉しく思いました。しかし、中には厳しいご意見やご指

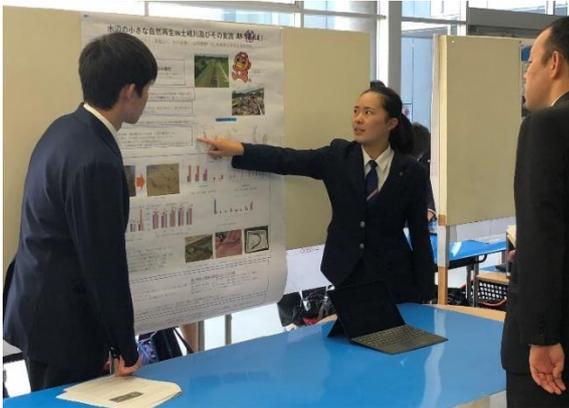
摘もあり、今後の研究活動への課題としていきたいと思いました。論文作成・ポスター制作は大変でしたが、今後のために役立つ貴重な経験になりました。

中日新聞による AIT サイエンス大賞についての記事

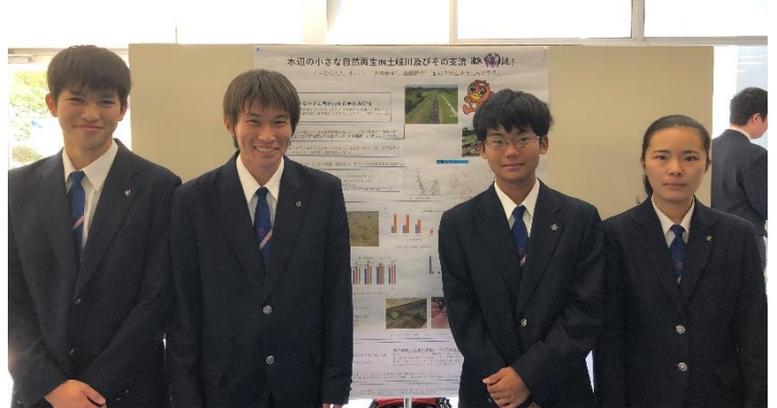
<https://edu.chunichi.co.jp/news/detail/10212/u00006>

担当教員：佐賀達矢 杉本真弥 下総郁子

<当日の写真>



オーディエンスの質問に答えている様子



ポスターの前で



審査委員長より賞状と盾を授与していただきました



参加した自然再生班 4 名

